

# 会 議 錄

会議名	令和6年度第2回市地域スポーツ・文化活動検討協議会	日時	令和6年10月28日(月) 14:30~16:00
次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 合同部活動の試行（陸上競技、美術・総合文化）について</p> <p>(2) 部活動の地域連携・地域移行に係るアンケート調査結果概要について</p> <p>(3) 県教委「地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク」（情報提供）について</p> <p>(4) その他</p> <p>4 閉会</p>	場所	八戸市美術館1階 スタジオ
出席者	<p>【委員】 木村浩哉委員、佐々木宏恵委員、久保隆明委員、目澤伸一委員、米内正明委員、 小林智栄委員、細越健太郎委員、木村政和委員</p> <p>【事務局】 石丸隆典観光文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長、加藤公文化創造推進課長、沼上学校教育課長、スポーツ振興課・文化創造推進課・教育指導課・学校教育課員（部活動地域移行支援アドバイザー含む）</p>		
概 要			
進行	<p>ただいまから、令和6年度第2回市地域スポーツ・文化活動検討協議会を開催いたします。</p> <p>議事に先立ちまして、木村会長から一言御挨拶をお願いします。</p>		
会長	<p>みなさん、こんにちは。本日はお忙しいところご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>まず初めに、本日大きな案件となるアンケート調査の結果ですが、調査におきましては、児童生徒、保護者、教員合わせて10,486名より回答をいたしております。調査協力いただきました1万人を超す皆様、また集計していただきました事務局の皆様に、この場をお借りして心から感謝申し上げます。関係する多くの皆様にとって、また移り変わる時代において、地域のスポーツ、文化活動の望ましい形はどのようなものなのか、検討してまいりたいと思います。本日、たくさんの意見をいただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。</p>		

進行	ありがとうございました。それでは、議事の進行は、会長にお願いいたします。よろしくお願ひします。
会長	<p>それでは、早速、議事審議に入らせていただきます。</p> <p>審議は八戸市附属機関の設置及び運営に関する要綱及び附属機関の会議の公開等に関する取扱いに基づき、原則公開することとされております。本議事審議を公開してよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし
会長	<p>異議なしということで進めたいと思います。</p> <p>それでは、次第に沿って進めたいと思いますので、委員の皆様には、御協力のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>まず、本日の議案提出理由について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>教育委員会学校教育課の戸来と申します。事務局から本日の議案の提案理由について説明いたします。</p> <p>次第を御覧ください。本日は、次第の「3 議事」に記載のとおり、3点について、協議または情報提供させていただきたいと考えております。</p> <p>1点目は、「合同部活動の試行について」であります。前回の本検討協議会においてお知らせしておりましたが、事務局では合同部活動の実施に係る諸課題の検討を進めるため、【資料1】のとおり、合同部活動の試行を計画しております。既に実施済のものもありますが、その概要の詳細について改めてお知らせいたしますので、御意見等伺えればと考えております。</p> <p>2点目は、「部活動の地域連携・地域移行に係るアンケート調査結果概要について」であります。前回の本検討協議会において実施することとしました中学校部活動の地域連携・地域移行に係る実態把握のためのアンケートについて、事務局では予定どおり9月2日～9月13日の期間で、児童生徒、保護者、教職員を対象に調査を実施しました。この結果の概要について、【資料2】のとおり、御報告させていただくとともに、今後の協議の方向性を明確にしていくため、委員の皆様から御感想や御意見等を伺えればと考えております。</p> <p>3点目は、県教育委員会が今年度設置しました「地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク」についてであります。こちらは情報提供のみとなりますが、今後の本検討協議会における協議の参考になると思われることから、お知らせさせていただきたいと考えております。以上であります。</p>
会長	ただいまの説明に対し、御質問等ございませんか。ないようですので、それぞれの案件の議事を進めます。（1）「合同部活動の試行について」、事務局から説明願います。

事務局	<p>まず、資料1をご覧ください。私の方からは、1ページ目の『合掌土偶を作ろう』、これはすでに終了しておりますので、こちらについてお知らせします。</p> <p>10月5日（土）には川縄文館で合掌土偶作りを行いました。合掌土偶は、国宝に指定されて今年で15年目を迎えますけれども、最近では制作指導ができる方が少なくなったため、ボランティア10名と書いてあるんですが、実際は8名で、生徒は16名の定員で実施しました。</p> <p>当初、4校から16名の参加申し込みがありましたけども、当日1名が欠席し、3校15名での実施となりました。参加した生徒は、15名全員、一生懸命3時間集中して制作活動に取り組んでいましたが、引率した顧問の先生からは、専門的な技術や知識を学ぶ機会ということで、材料費200円でできたということや、新聞にも載りましたけれども、保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりが大切だと感じました、というようなご意見を頂戴しました。</p> <p>地域移行については、「誰がどのように運営するかの情報がまだ少ない。」「保護者の理解を進め、新たな形に慣れてもらうための取り組みが大切である。」というような、積極的な情報発信を求めるような声もいただきました。</p> <p>また、良かった点とか色々なご意見をまとめまして、陸上競技が終わった時点で第3回目の検討協議会でお知らせしたいと考えております。</p> <p>子どもたちも、すごく充実した経験ができたということで、非常に喜んで帰っていました。交通手段としては、ほとんど保護者送迎だったんですけども、2名だけは公共交通を使って来ていました。</p> <p>文化芸術活動については、社会教育の一環として捉えて、合同部活動という形にとらわれずに、縄文館や博物館等で実施している社会教育ワークショップ等の参加を周知するなど、今後検討してまいりたいと思っております。</p> <p>第2回の美術部・総合文化部の合同部活動については、次回は12月7日（土）、こちらの美術館で『風の中を飛ぶ種子』という教育版画展を行っているので、そこに合わせて、ドライポイントの制作と、学芸員さんによるトークイベントに参加させるというような内容で計画をしております。</p> <p>こちらの方はそろそろ学校に周知する予定ですが、午前、午後の開催ということで、またやってみたいと考えております。文化部の方は以上です。</p> <p>続きまして、資料3ページの令和6年度八戸市中学校陸上競技合同部活動についてご説明いたします。</p> <p>前回の協議会でも少し触れましたが、来月11月16日（土）、八戸市東運動公園陸上競技場におきまして、市内各校陸上競技部員で合同部活動に参加希望する生徒を種目別に分け、八戸学院大学陸上競技部20名の学生さんの協力を得て競技指導を行う予定です。</p> <p>参加者については現在申し込みを受けており、参加者生徒が専門的な指導を受け、競技の面白さや技能の向上が図れればと思っておりました。簡単ではありますが、以上です。</p>
-----	--

会長	<p>ただいまの説明に対しご意見ご質問等ございましたらお願ひいたします。</p> <p>まず最初に合掌土偶の製作、10月5日にすでに終わっているというところ、これについてはいかがでしょうか。あるいは、12月7日、第2回はドライポイントということですが、文化的な活動に関して何かありましたらお願ひいたします。</p> <p>文化的ということで小林先生何かありましたら。</p>
○○委員	<p>やはり、こういうのをいろんな人に深めていってもらいたいなというのはあって、これはとてもいい企画だと思います。最初のうちは人数が少なくてどんなことをするのかわからないので、参加した子どもたちが「こんな感じで楽しかったよ。」というのを学校で広めてもらえれば、もっと人数が集まって、定員も増やしていくんじやないかと思うんです。こういうのは、ここでしかできないことなので、ぜひお願ひしたいなと思いました。とってもいい企画だと思いました。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。</p> <p>では、合同部活動のスポーツの部分、陸上競技に関して、これはこれから11月16日の予定ですが、これにつきましてご質問意見等ございましたらお願ひいたします。</p> <p>これは、私が担当する部活動、陸上競技部ですので、学生をこの種目のように割り当てております。ただ八戸学院大学の陸上競技教室とならないように、今学生に言っているのは、たくさんの中学校、はじめて会う人たちがいるような形での合同の練習会ですから、おしゃべりをたくさんさせて、今主体的対話的ということが言われていますが、「AということとBということをいろいろ話し合わせてCという結論ができる。」という風ないろいろな話合いの中から自分が試してみようと思う行動が生まれればいいと思っておりまして、おしゃべりの多い合同部活動になればいいと思っております。いかがでしょうか。</p>
○○委員	これは見学は自由ですか。勝手に見ていいんですか。
事務局	はい、大丈夫です。ぜひお越し頂ければと思っていました。よろしくお願ひいたします。
会長	学生も見本を見せるということを考えておりますので、どうぞご覧になってください。
事務局	指導者の謝礼についても、補正の方で予算を組んで、学生たちには1時間1000円ということで、3時間の予定で日当として払う予定でおりましたので報告申し上げます。
○○委員	今の時点でどのくらいの参加があるかは、まだ分からないです。

事務局	2週間前に各陸上部の顧問の先生方に申し込みを送って、文化祭等で申し込みが遅れているかと思うのですが、現在何人というところは、たぶん100人以上は確実に集まるのではないかと。部員の多い白山台中だけで1年生2年生だけで約50名の部員を抱えているので、先日秋季の新人大会が終わったので、来年度に向けてもしかすると種目替えをして新しい種目にチャレンジという生徒もいるのではないかと思って、多くの中学生に参加していただいて、なおかつ専門的な学生の指導を受けて、他校の生徒と切磋琢磨して、先程会長さんからもありましたように、子どもたちの自主性を発揮できるような練習会にしていきたいと思っておりました。
○○委員	ありがとうございます。
事務局	報酬の件なのですが、アシスタントとして1時間1000円と予定していたのですが、合掌土偶の方はボランティアさん8名いらしたのでお支払いしようとしましたが、ボランティア団体としては受け取れないということで、やはりこちらもやってみて課題が出たわけですけれども、様々な団体さんがいらっしゃって、その規約だったり人間関係だったり様々なことを考慮して、何度か交渉をしたのですが、これは絶対に受け取れないことだからということで、お支払いはしませんでした。ただ、粘土のお金、材料費だけ200円集めてお支払いはしたわけですけども、これから合同部活動をやる場合、様々な施設や団体さんによってそういう事情も出てくるんだなあということがやってみてわかりました。
会長	ありがとうございます。普段からボランティア活動としてやっている方々ということで、いろいろな立場がおありますので、その立場を尊重してお願いするということは大事なことだと思います。 ないようですので次の案件に移ります。(2) 部活動の地域連携・地域移行に係るアンケート結果概要について、事務局から説明お願いします。
事務局	はい。それでは、アンケート調査結果の概要について説明いたします。資料2の1ページ目をご覧ください。 先程事務局からもお話をした通り、調査期間等は全てこの通りで実施することができました。 (5)の対象人数と回答率ですが、保護者は、兄弟姉妹がいる場合は上のお子さんについてのみの回答としているので、回答率は表示しておりません。 結果概要についてですが、中学生の部活動の加入状況 89.9%の生徒が学校部活動に加入しています。学校部活動以外の活動をしている生徒は20.4%で、こちらを足しても100%にならないのは、学校部活動と学校部活動以外の活動の両方に加入している生徒がいるからです。 (4)の部活動に入る目的としましては、概要は全部まとめていますが、5ページの中學

	<p>生の結果を見ると、(1)(3)(4)の棒グラフが伸びていて、22ページの小学生の結果を見ますと、やはり同じ項目が上位を占めていて、中学生は「体力・技術を向上させる」と「友達と楽しく活動するため」というのが大体同率です。多少の差はあるんですが、選ばれた項目が小学生も中学生も一緒だったという結果になりました。</p> <p>続いて資料の2ページをご覧ください。教職員の部活動に対する意識についてですが、顧問をする場合、自分自身が取り組んでいた競技や活動を担当している教職員は35.9%しかなく、64%は取り組んだことがない競技や活動を担当しているという状況です。</p> <p>部活動を通して生徒の人間形成や達成感や成就感を味わわせる、生徒同士の人間関係作りやコミュニケーション能力を身につけさせたいと考えて担当している教員が多いという結果です。</p> <p>②の部活動の負担については、16ページの問6を見ると、「非常に負担感が大きい」ですとか「専門的な指導ができないで困っている」というようなところを選んでいる教員が多いということになります。</p> <p>概要では非常にまとめて表記しているので、1つ1つの結果を見ていくと、負担感が非常に大きいということが分かるところです。</p> <p>資料の前の概要の方に戻りますけれども、(3)②「地域連携・地域移行」に向けて解決すべき課題とありますが、こちらの方で大まかにですが、解決すべき課題として5つ列举いたしました。</p> <p>まずは、人材の確保、大会運営との関わり、施設の問題、費用、交通手段、この5つが課題として挙げられるのではないかと分析しました。</p> <p>③ですが、指導者についてです。今回のアンケート調査では教職員のみ回答を求めましたけれども、中学校では、約1割の教員は報酬に関わらず指導したいと回答しています。</p> <p>詳細については18ページの問9、10をご覧ください。やはり、小学校の教職員については、30ページを見ると分かる通り、「報酬に関わらず指導したい」「報酬があれば指導しても良い」と回答した方は6.2%しかいなかったという結果でした。</p> <p>非常に簡単ではありますけれども、概要の方の説明は以上となります。</p>
会長 〇〇委員	<p>ありがとうございました。ただいまの説明およびアンケート結果に対しまして、ご感想やご意見を伺います。アンケート結果を見ますと、半数を超える児童生徒が休日の地域で行われるスポーツや文化活動への参加を希望しているものの、保護者からは指導者の適正、あるいは確保、専門的な技術や知識、資格を持った指導者からの指導を求める声が、教職員からは学校部活動ではない地域での活動における責任の所在、これらを不安視する声等が挙げられております。こういった意見を踏まえたうえで、今後の協議の方向性を明確にしていくためにも皆様からご感想でも結構ですのでお話をいただければと思います。いかがでしょうか。</p> <p>ひとついいですか。私、今年から中体連のほうの役員をしておりますけれども、今年</p>

	<p>からこちらの委員会に参加しておりますけれども、教員のアンケートを見た時に、早急に進めて欲しいという声に対しては、八戸市としては国に準じるような、たとえば8年度からは休日土日は職員は指導しないとか、そういうことは去年の段階で11年度からブロックに分けて地域と学校の指導者でやって段階を追うんだと、これは決定事項だったような気がするんです。実際に国は8年からやろうと出しているけれども、八戸市はそれは無理なんだ。うちらは11年度から段階を追ってやっていくんだということが決定事項として職員に伝わっていると、今回のアンケートで意外とやってほしいという声があがっているということが、いやいや違うんだよ八戸市はと、もう一回校長会などでアンスしないといけないのかなあということがひとつなんです。ただ、このアンケートを元にすると、もう少しこの会で話し合って方向性を検討しあう、これから意見等でその方向も考えないといけないのかなあと、アンケートを見ながら気になりました。</p> <p>現場の方はもうあまり関わりたくないという声がはっきりしたんですよね。でも去年の段階では、ブロックに分けて、地域の指導者を探して、今やっている先生方も一緒にその競技をやっていくんだというのが、去年八戸市の方針で出たんだと思うんだけれども、その辺は方向性を変えるべきなのか。先生方には私はもう言っているんです、あきらめてくれと。国の方針とは違うんだ八戸は、と。これからも部活動は続けて、土日のどちらかは休むようにしてますけれども、中体連がある限りはよろしくお願ひいたします、と。先延ばしという言葉は適切ではないかも知れないんですけど、あと7、8、9、10と4年か5年、今の体制を維持しながら新しい形を模索するということで、改めて伝えていたんですけども、その辺がギャップというか、アンケートを見るとどうしてこのタイミングで思っているんだろうとか、さらに今後これを見直していくべきなのかというのはちょっと迷っているということで、私の意見です。</p> <p>どこにも質問のしようがないですよね。どうでしょう、委員会のほうで昨年度出た方針をこのままも踏襲というか、案が出されました、先生方にご理解いただきながら11年度を目指すんだという方向でよかったです。あれはただ単に案だったのか、それともこれからこの方向で5年かけて八戸バージョンを作るんだということだったのかというのをもう一度確認して、私も校長会で話をしたいなと思っていましたけれども。どうでしょう。</p>
会長	今の意見について事務局お願いいたします。
事務局	まず八戸市教育委員会といたしましては、先程〇〇委員がおっしゃったところの基本ラインでは考えておりますので、今回このアンケート結果を受けて検討協議の場でたくさん意見をいただければと思います。検討協議の中での意見を我々が受けて、さらにまた検討が必要であれば検討するということになりますので。
〇〇委員	わかりました。

会長	確認ですが、令和8年度から競技によってできるところからということでよろしいですか。令和11年度は完全移行。今のお話の確認ですけれども。
事務局	あくまで現段階での計画は、昨年度リーフレット等で周知しておりますとおり、順次合同部活動という形だったり、学校部活動の枠を外れたやり方で、順次そういった形で進められるところから進めていく。令和11年度以降、本格的に移行できるものはしていく、今の段階でのスケジュールはそのままで考えているところではありますけれども、先程ありましたとおり、この協議会の場で様々なご意見いただければそれに基づいて検討していくことは当然必要なことだと考えております。
会長	ありがとうございました。アンケート結果を見ますと出来るだけ早くという意見も多くありますので、それが令和8年度から段階的にとなった場合に、競技団体や地域とのやり取りの中で、11年度から全面移行ですけれども8年度早めにできるところがあればアンケート答えた方々にとって望ましいということになると思います。 ○○委員よろしいでしょうか。
○○委員	はい。
○○委員	保護者の立場からですけれども、言葉が乱暴になるかもしれないんですが、今回のアンケートを見て私すごくがっかりしたんです。先生たちの意見というか、小学校に愛好会移行してそれなりにいろんなところで問題があつたり揉め事があつたりとかそういうことは先生方も聞いていると思いますし、私たち保護者からすると愛好会移行は結構急な決定だったと思っていて、今でもそれを引きずっていて、愛好会によってはうまくいっていないところがあると感じているんだけど、先生たちの意見を聞くと、言い方は悪いのですが早く移行できてよかった、といった問題は私たちには関係ないので保護者でどうにかしてくださいというように見えてしまいました。 中学校の先生たちも、とにかく部活を早く離したいというような話があって、この親と先生の溝というのは埋まらないんじゃないかなと思ってしました。いろんな意見、一応頑張って全部見たのですが、私なりに思ったのは、部活動強制加入をやめて任意加入にするべきなんじゃないかと思いました。もうひとつ、保護者の中の意見で内申点を気にする方がいて、内申点を良くするために部活に入れたほうがいいんじゃないかという意見もちらほら出たので、そもそも課外活動の部活動は内申点に関係ないんだと言ってしまって、部活動も任意化すると、本当に部活をやりたい子だけが残るし部活動の数も少なくなるし、先生の意見によっては、やりたくないけど強制だから部活に来ている生徒の指導が大変だとかそういった意見もいろいろ出てきているので、部活動の任意化をする方が先なんじゃないのかなと。任意化にしたほうが先生たちの負担がさらに減る。なおかつ外部指導者、たとえば第一中学校だと10人くらい入っていると思いますけど、これを地域の方でもっと入れていって平日の段階から地域の方に、今はボランティアで

	いいと思うのですが、ボランティアの方にどんどん入ってもらって平日の部活動も見守ってあげる、積極的な指導はできないにしろ地域の方に入ってきてもらうのがいいんじゃないかなと思いました。採用されるされないは別にして、私の感想としてそういうふうに思いました。
会長	ありがとうございます。整理したいのが、部活動は現状として強制なのか任意なのか、学校によって違うのか。そこを先に確認したいと思うのですがいかがでしょうか。
○○委員	それについては校長会のほうから。強制でなくなってだいぶ経ちます。任意加入です。推奨という形で行っているので、部活動に入っていない生徒もいます。
○○委員	かなり少数ですよね。
○○委員	少数ですね。習い事をしているのであれば、そちらでやっていいよというスタンスで学校ではいますので、必ずしも部活動に強制というのはやっていないのが現状です。入試のことを気にされる保護者さんがいるのは大変よくわかるんですが、今年度の調査書の中には部活動のことを書く欄がありますが、部活動に入ってない子に関しては、その他のいろんなことを書くところがあるので、そのところに記述することは可能なので、保護者さんへの進路説明会等で学校側は話しているので、今はだいたいの子は入っているんですよね。強制ではないということは新入生保護者説明会でも話しているので、いろんなことを考えて部活動に入ってくださる子どもはたくさんいるんですが、今は強制ということはしてないです。
会長	強制ではないということで、同じような意見が本日欠席の○○委員からも、強制は望ましくないんじゃないですかという意見があるのですが、ただ入っていない子どもさんが少数ということで、子どもから見るとみんなが入っているという言い方になって、受け取り方が強制のように感じているだけなのかなと思いますが。制度上は強制ではないということです。
○○委員	よろしいですか。今の部分のお話だけで申しますと、約20年前くらいに今の組織を立ち上げた時に、最初中学生と小学生の部分だけでスタートしたんですけども、中学生は当時は部活に必ず入らなければいけないということで、クラブチームのサッカー、私たちのところはサッカーだったんですけども、サッカーに入っても、学校の化学部とかあまり動かなくてもいいようなところに籍だけおいて活動をするというのがそこから10年くらいあったんですが、今は多くのスポーツでクラブチームができる、中体連でもクラブチーム出れるということで、陸上でもいろんなスポーツで学校単位ではなくて出ている子どもたちもすごく多いと思いますので、その子どもたちはこのアンケートに即しているかは別ですけれども、自分から部活に入らないでそっちをやるという形が多いです。

す。

同じスポーツで、たとえばサッカーでもバスケでも、クラブと中体連の同時登録ができるないというのもありますので、そこは子どもたちが選ぶように変わってきているのかなと思います。このアンケートの結果がすべてそのまま正しいのかどうかというのは、どういう方が回答したのかもあるのですが、今はそれほど少数ではない。逆に言うと、地域移行に移っていくというのを考えると、その少数派が増えていかないと、ずっと部活動で終わってしまうと思いますので、何のためにそういうスポーツや文化活動をするのかを考えて、自分たちが選択をして、ゴールはスポーツであれば、ニュースポーツであれば別ですけど、勝負スポーツであればやっぱり勝ちたいんだとか上手くなりたいんだというところに対してどういう指導者が必要なのか、文化活動もそうですし、選択ができるようになっていくと少数派というところが増えていって、先程の内申点の部分でもそこで頑張ってそういう活動に参加して全国大会に出た、優秀賞をもらったというのはプラスになっていくと思いますので。今はそこまで部活動に入らないということに対する違和感はないのかなあと思います。

○○委員もおっしゃったように、小学校はほとんど愛好会であったり少年団に変わっているので、学校の先生方というよりは、父兄が見守りであったり、地域の指導者が入って、みなさんお仕事もしているので、その中で見守りの調整であったり、試合時の送迎であったり、練習場所の確保であったり、そういうところが今すごく大変なんじゃないかなあと。私も小学生の子どもがバスケをやっていて、中学生の子どもはクラブチームに入っているので、いろいろと見ていますと、その辺の調整であったり、学区をまたいで集まる組織もあれば、学区で固まるところもあったりというところで大変なところもあるのかなと、一意見として申し上げます。

会長

ありがとうございました。20年前から現状までの子どもたちの様子を細かく話していただいてありがとうございます。

先生方でもアンケートを見ますと、自分自身がその競技をずっと続けてきたのでこれからも指導に関わりたいという先生方もいるように思われます。そういう場合は先生方が地域の指導者として関わっていくというのは可能だと思いますが、実際、先生方でこのまま続けたいという方々の様子なにかありましたら。

○○委員

そうですね。今、たとえば私は一中でバスケットを教えていましたと、そのまま一中にいるときに部活動もしくはクラブ移行にしても土日は先生方はいいですよ、でも一中のバスケット部として土日やるんだったら兼職してそのまま教えたいという流れかな。ひとつパターンとして。ただその人が転勤したとか自分の故郷、たとえば階上で住んでいてその地域のバスケットの方を教えるのかは、これから教員として兼職を目指すのか自分が生まれ育った地域で自分が携わった競技を普及、指導していきたいのかは少し分かれてくるのかなと思います。

会長	先生方の実情についてありがとうございます。 他、いかがでしょうか。久保委員もう少しお話伺いたいようなことがありましたら。
○○委員	あともう一つこの前話をしていて思ったのは、子どもたちは地域で活動するにしても家から近いところでやりたいという意見が、大人もそうだけど子どももそうなんだなと思いまして。今回の美術もそうですけど、たとえば是川の地域の人は良いけれど、市川の人はだいぶ遠いとかあるので、地域移行するときに地域に着眼してやらないと、スポーツやる子とか音楽やる子がどんどん少なくなってしまうんじゃないのかなと。最初の導入部分が地域にあったほうがその先を目指せるんじゃないのかなと思いました。
会長	ありがとうございます。導入部分として地域にあったほうが、家から近い方が保護者も安心だということもあると思います。 他、アンケートにつきまして目澤委員いかがでしょうか。
○○委員	いろいろアンケートを見てまして気にかかったのが、月謝、会費ですか。あれについて皆さんどういう意見が多いのかということで。ここでも14ページに中学生の方まとめさせていただいていますが、2500円から3000円、そして1500円から2000円、500円から1000円というような、それらが多数を占めているようだと思いますが、基本的にはそういうものは種目であれ地域であれそれぞれの特性を活かしながらその地域にあったようなことを選べる体制だよね。こうしなさいということではないよね、八戸市内は3000円なら3000円でまとめましょうという話ではないですよね。
会長	ないです。
○○委員	それはそれとして、いいと思いますけど、3000円が主流であれば3000円で運営していくって足りなくなれば特別徴収というのがあるのは当たり前の話であって、それはそれに任せることになろうかと思いますが、この集計も大変興味深いものだと思って見ました。
会長	ありがとうございます。これは保護者の感じ方ですので、保護者にするとこのような地域の活動に出すお金と、あるいは、いわゆる進学塾などに行かせて出すお金というの出所は保護者は同じですので、そういうような感じ方であると思います。 また、会費ということでなっていますが、遠征ということが入ってくるとまた別にプラスしての徴収で交通費や宿泊費が入ってくると思います。 ○○委員、たくさんのスポーツの競技団体ご存じだと思いますが、このアンケートと合わせてお気づきの点がありましたらお願いしたいのですが。
○○委員	この委員会を立ち上げたときに、自分自身、私が以前高校の教員でひとつの部活動を

	<p>40年近くひとりで顧問していた絏験で、こういうような形が望ましいのではないかという自分の考えは持っていたのですが、小学校の方がクラブに移行してから、一生懸命やりたいという指導者はいるんだけども保護者によって辞めさせられたり、逆に保護者としていろいろな競技の指導者を必要としているという現状にあってそのあたりがうまくいっていないところを聞いていて、中学校も同じような形になるんじゃないかということを考えながら、でも自分の考えを持っていたのですが、今回の保護者、先生方のアンケートを見て気持ちがまとまらないというか、これどういうふうな形で進めていけばいいのかと苦慮している。今、委員長から聞かれたときにどういう形が一番望ましいのかなあというか、自分の気持ちが揺らいでいるという現状です。</p> <p>うまく言いにくいんですけども、たとえば前にも私がお話したと思うのですが、中学校の中体連のバレーボール競技をずっと50年くらい見ていましたけれども、当初は、名前を申し上げれば〇〇先生がバレーの審判免許を持っていて、あとはほとんどの先生は免許を持っていなくて、自衛隊の方とか高校の先生方の手を借りて大会運営をしていたという時期がずっと続いている、ようやく数年前から、10年ちょっと前ですかね、中学校の先生方で審判ができるようになっていて、大会の運営も中学校の先生方で今は完全にできる、協会が離れて。そういう状況の中で、じゃあ指導に限らず土日の大会運営は誰がやるのかなと。これを協会の方にと言われても、今のバレーボール協会の現状はそういう運営できるような人たちはいないんですね。中学校の先生方がメインで100%すべてやっているので、こういう現状を考えると、いちバレーボール競技に関してもなかなか難しいというか。他の競技も、たとえば水泳とかサッカーとか体操とかそういう競技はすでにクラブ化になって活動しているわけですが、これからなかなか大会運営等難しいのではないかと。そういうようなことを考えると、繰り返してお話ししていますが、気持ちがまとまらない。どういうふうにして話をすればいいのかなあと。両方の考えがあつて。以上です。</p>
会長	<p>わかりました。いろいろな形の中のクラブ活動の在り方というのが、今のお話を聞いていると出てくるのかな。もちろん楽しさの追求、あるいは強さを求めるもの、どちらでもなくとにかく家の近く、そういった形が出来たところから子どもたちが移っていくというのが起こりえるのかなと感じました。</p> <p>他に皆様いかがでしょうか。アンケートを元にして、さらにこういうふうな点があればうまくいくんじゃないかということも。</p> <p>よろしいでしょうか。指導者不足のことが先程からときどき出ておりますが、これに関わることで人材バンクが次に控えておりますので、(2) の案件はここまでにして、(3) 地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンクについて事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	資料の最後にあります「青森県 地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク」のチラシを御覧ください。

	<p>青森県教育委員会では、生徒のニーズに合ったスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、公立中学校の部活動の地域移行を推進しております。この度、運動部活動の地域移行の受け皿となる地域クラブの指導者を確保するため、指導者として協力していただける地域の方々と、指導者を必要としている地域クラブ・学校を結び合わせることを目的として「地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク」を設置したとのお知らせがありました。</p> <p>現段階において、市教育委員会といたしましては、人材バンク活用にあたっては、指導者の適性の確保や報酬の在り方等に加え、本検討協議会において協議いただいております当市における中学校部活動の地域連携・地域移行の在り方との関連等についての検討が必要であると考えておりますが、指導者の確保の観点から、この人材バンクの活用は課題解決のための有効な手段となり得ると思われることから、皆様へ情報提供させていただきます。以上であります。</p>
会長	ただいまの人材バンクの説明につきまして、ご意見ご質問等はございませんでしょうか。
○○委員	これはもう始まっているものということですね。
事務局	はい、すでに始まっています。
○○委員	全県の方というか、県外の方でも登録できるということなんですね。
事務局	はい。
会長	あと質問等ありましたら。
○○委員	登録はもちろんですが、問い合わせも県庁のスポーツ健康課ですか。八戸市の教育委員会も窓口になるんですか。
事務局	問い合わせに関しては県の窓口になりますが、実際指導者の任用に関わるやり取りですとか、各市町村が指導者と直接やり取りをするという形になっています。
○○委員	たとえば、バスケットの指導者がどなたかいませんかねえというような、必要があれば、それは八戸市の教育委員会の方に問い合わせてもいいということですか。
事務局	本來的にはそういう活用になっていくかと思いますが、今現在市として登録された方をどのように活用するかも含めて、登録された方に対してどういった条件で運用していくのか、報酬とか関わり方とかまとめてないので、今現在その活用はできてないと

	いう状況になります。人材バンクをどのように活用していくかということも含めて、この検討協議会の中で協議いただけだとありがたいと考えております。
会長	そうするとこの人材バンクは今のところ応募を受け付けているという状況で。
事務局	登録はできる。
会長	登録はできる。派遣、依頼まではまだいっていないということですね。
○○委員	これは、こういうものをやってますよと、口外していいんですか。
事務局	県の教育委員会のホームページに公開されております。
○○委員	それは皆さん知っているのでしょうか。一般の人は知らないですよね、たぶん。私も全然知らなかったので。もうやっているとは夢にも思わないこれ見てたんですが、知らない人が多いですよね。これをどうにかしないとだめじゃないでしょうか。
○○委員	まわりを見ている感じでは、登録そのものよりもその種目の指導者ってどういう方がいるのかなというのが保護者の疑問であるし、実際に探しているというか、その辺があると思うのだけれども、その相談をするときに窓口が県の教育委員会か市の教育委員会かということで。紹介してもらうのが最初のとっかかりなのでは。保護者とすれば。クラブを運営するために。
○○委員	高校だったら県かなと思うのですが、小学校中学校は市だと思うので、市は独自でやらないで県にこれを使ってやるみたいな感じなんですか。八戸市でこういうものを作るんじゃなくて、県のこれを使ってやるんですかね。八戸市教育委員会は八戸市のものなので、八戸市でこういうものをつくるのかと思ったら県がやっているので、高校だったら県だからいいと思うのですが、八戸市教育委員会として県のものを使うというものなんですか。
○○委員	要望として改めてこの会で八戸バージョンを作りたいと。そして今学校としても○○委員から提案されたように、平日も含めてみてもらえる方を探したらどうだろうということですから、土日だけのバージョンと、私はフルで地元のバスケットを教えていいですよという方を学校を基盤として募集するのか。学校というのは、部活動の顧問の代わりを地域で探そうというのを動き出していいのか。それとリンクして同時に登録してください、八戸市の人材バンクに登録してその内容としては一中学区のバスケット部の指導を平日も含めて土日も含めてやりたい人と、土日だったらいいよという人で、登録しながらそのバンクを増やしていく。もちろん学校側としても聞きながらやってい

	<p>るんだけど、公開しながら隣の学校はここまで人材を集められているというのがあるよねと動き出しの第一歩かなと思うんですよね。そのときは呼びかけてほしいんですよ。上限はあると思いますけど、1時間1000円、週3日の平日2時間で6000円とか、土日だったら3000円とか。そこがリンクしないと進まないと思っています。そこには令和8年度から先生方も登録できる。少なくとも転勤する前までは一中のバスケット部として土日も教えたいたいという先生方にも1000円ずつ出しますよと、市として予算確保と方針を出して頂けると現場としては一步でも、かなり前進した取り組みかなと思っています。そうしたら8年度のできるところからやっていこうと、コミュニティスクールもありますから、まず年何回のやつで呼びかけて、決定事項になれば依頼も出ているし、それを呼び掛けたいこうということで探すのは探す、それでマッチングしてこの条件だったら採用する場はあると思いますので、そこで話し合ってこうやっていくとなると継続ができるのかなと思います。学校で私がいたときに引っ張ってきて頼むといっても、保護者であれば卒業するとやらなくなる。そうすると継続性がないかと思いますので、ちゃんとしたのを通しながら登録してもらって、卒業と同時にやめるんだったらやめて取り消すでいいので、そういう組織づくりを考えてもらいたいと思いました。</p>
会長	要望ですけども、可能性として事務局いかがでしょうか。八戸バージョンという中で、直接地域の人が県のスポーツ健康課へ問い合わせということでなく、市町村教育委員会ということで、八戸市の教育委員会でのやり取りということは検討の余地が。
事務局	ご意見ありがとうございます。今後検討させていただければと思います。
会長	その他ご意見ご質問等ございませんでしょうか。
〇〇委員	今の人材バンクの件ですが、学校とかコミュニティスクールを使うというのは、子どもたちがあまり遠くに行きたくないという現状を考えるとすごくいいと思うのですが、それに加えて、民間の企業さんにも働きかけをする場があるといいかなと思います。ものすごく極端な例ですけど、世界で一番車が売れている地域がありますよね、愛知県に。あそこは全部あそこの企業が部活の外部人材をいろいろな学校に派遣しているので先生方がほとんどタッチしていないという話を聞いています。そこまで大きなものでなくてもいいのですが、学校と地域だけでなく民間の力を借りるというか、商工会議所等にお話を持って行っていただけると、私たちが分からぬ部分でのいろいろな人材も確保できるのかなあと思って。学校や地域の方にお願いしても、地域のことは分かっても企業さんのほうは分からぬという方も、委員の方もいらっしゃるので、企業さんとも接点が持てたらまた違った形で人材バンクが広がっていくかと思いますので、案として検討の中に入れて頂けると助かります。以上です。
会長	ありがとうございます。指導者の派遣を企業にも参画してもらって、たくさんの指導

	<p>者が地域へ行って指導できるような体制が取れればいいという意見でした。 他ございませんでしょうか。</p>
○○委員	こういうときの大学生というのはどうなんですか。
会長	<p>大学でも、大学独自の人材バンクの構想はあります。それも部活をやっている子だけでなく、部活をやっている子は自分の競技もありますので、高校まで部活をやっていけど大学生になってやっていない子もたくさんいるんです。そういう子を、大学独自の人材バンク、そしてその子たちにいろいろな研修を受けさせて、特にハラスメント関係の研修を受けさせてそのうえで各地域に要望があったときに派遣するという構想はあります。まだ取り組んではいないのですがだんだんとそのような形を作りたいと思っております。</p> <p>そうなってきたときに大事なのが保険だとか、自分がそこにいく途中で怪我をする、あるいは指導中に子どもに怪我をさせてしまったというそのあたりが課題になってくるかと思います。すみません付けたしでした。</p> <p>その他、ご意見ご質問等なければ、その他なりますが、事務局何かありますか。</p> <p>ないようですので、本日予定していた議事は、これで終了となります。事務局は、本日の審議内容を基に、次回に向けて準備をお願いします。それでは、進行を事務局へお返しいたします。</p>
進行	長時間にわたり、ありがとうございました。事務局から、事務連絡をいたします。
事務局	次回の検討協議会について連絡いたします。次回、令和6年度第3回市地域スポーツ・文化活動検討協議会は、来月11月25日（月）の開催を予定しております。会場については、市庁本館3階第二委員会室を予定しておりますが、正式なものは、後日、各委員宛てに案内を送付させていただきます。以上であります。
進行	これをもちまして、令和6年度第2回市地域スポーツ・文化活動検討協議会を終わります。